

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「えごま」の生産効率改善事業
事業主体 (連絡先)	上松町 上松町役場 産業観光課 農林係 (0264-52-2001)
事業区分	⑥オそのた地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,271,104 円 (うち支援金: 1,885,000円)

事業内容

① えごま生産者の増加の為、町内者（ふるさと納税、特産品注文者など）をターゲットとした、えごま播種収穫・搾油までの体験会を行った。

えごまの栽培体験 定員20名（町内）

実施時期 播種5月27日 植付7月1日16名参加

草取り随時 収穫11月5日13名参加

搾油1月26日11名参加

② えごま搾油機の購入（上松えごま工房）

えごま油の生産効率向上を目的に、新規で1台搾油機を導入した。



(活動写真)

【えごま搾油体験】

【目標・ねらい】

- ① えごま生産者の増加
- ② えごま油の商品の供給増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 体験をとおして、毎回一定の参加人数があり、えごま栽培に対する関心の高さがうかがえた。来年度以降、生産者の拡大が期待される。

② 今までは、一度の搾油作業で、15本しか搾油できなかったが、新たな搾油機を導入したことで、一度に合計32本の搾油を行うことができるようになり、生産効率が向上した。

※自己評価【 B 】

【理由】
新しい搾油機購入により今まで以上に本数も搾れるようになり、生産効率が向上した。
えごまの作付けをどうしたら多くの方に作って貰えるかが、今後の課題になる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

えごま油は、身体に良いと大変好評の商品になっている。今年度経験した方からの口コミや、町内回覧などを活用し生産拡大を行っていきたい。（えごまの種配布など）

また、えごま栽培体験会については、今回は町内の参加者のみであったが、今後は町外にも対象を広げることで、えごま生産者の拡大を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある